



燕市立吉田北小学校

学校だより

令和6年7月19日
No.4

回覧

学校だよりは、地域の皆様にも回覧板でご覧いただいています。日々の教育活動の様子を、学校ホームページ (<https://www.schoolweb.ne.jp/tsubame/yoshidakita-e>)に掲載しています。

明るいあいさつ、元気な心

校長 齊藤 カオル

先日、いじめ見逃しゼロスクール集会が行われました。今年度1回目のいじめ見逃しゼロスクール集会ということで、徳育推進部の教職員と若手教職員の6名が「朝の教室」の様子を再現する二つの劇を披露しました。全校の子どもたちは、その二つの劇を見ながら、「元気な心になるためのあいさつは、どういうあいさつか」ということについて考えました。

一つ目の劇では、Aさんが教室に入ってきて、誰も声を掛けてくれません。それどころか、おしゃべりに夢中になり、Aさんが教室に入ってきたことに気付いても、おしゃべりを優先して、誰もあいさつを返さないという劇です。この劇の子どもたちのよくなかったところや、どうすればよかったのかということ司会の教職員が全校の子どもたちに尋ねると、何人かの子どもたちから挙手があり、その子どもたちは自分の考えを述べることができました。

二つ目の劇では、Aさんが教室に入るとすぐに近くの友達がAさんに気付き、あいさつを返してくれます。そして、複数でしゃべっていた数人の友達もAさんに気付き、あいさつをみんなが返すという劇です。

二つ目の劇は、見ていて大変気持ちのよいものでした。そのことを感じた子どもたちが多かったようで、司会の教職員が話をする際は、体育館全体がシーンと静まりかえりました。6人の教職員に送られる子どもたちの拍手も大きかったです。

気持ちのよいあいさつとは・・・「はっきり元気よく」「相手の目を見て」「出会った人だれにでも」するあいさつであるということを改めて確認する時間となりました。

全校の子どもたちは、「もし、自分がAさんだったら・・・」と自分とAさんを重ね合わせて考えてくれたことと思います。あいさつ一つで人を元気にすることができます。そして、自分も元気になります。子どもたちがこのことを実感できるよう、まずは私たち大人が子どもたちに進んで明るいあいさつをしていきたいと思います。家庭や地域でも、皆様方からご協力をいただければ幸いです。

ちょっといい話・・・

いじめ見逃しゼロスクール集会の直後、劇で使用した道具を教職員が片付けていた時に何人かの子どもたちが自主的に片付けの手伝いに加わってくれました。私が「ありがとう!」とお礼を言うと、「がんばったよ!任せて!」という気持ちが伝わってくるハンドサインを笑顔でする子どもたちがいました。私は、大変うれしい気持ちになりました。その姿からも、今回の集会が子どもたちを前向きな気持ちにしたことを感じる事ができました。



まもなく子どもたちは、夏休みに入ります。保護者・地域の皆様から、学校の教育活動に対して温かなご支援をいただきました。大変ありがとうございました。

NHK新潟「児童画廊」吉田北小児童の作品紹介について

NHK新潟放送局の夕方のニュース番組の中で小学生の絵画作品を紹介するコーナーがあります。このたび吉田北小児童作品を紹介することになりました。

○放送予定8月5日（月）～17日（土）※日曜日は放送されません。

○月～金曜日「新潟ニュース610」（午後6時10分～7時）

土曜日・祝日「新潟ニュース645」（午後6時45分～7時）

※ただし、パリオリンピック開催の関係で、7月29日（月）～8月12日（月）までは、「新潟ニュース645」に変更になる予定です。

※児童画廊は、番組の後半で放送されます。

5年生自然教室を満喫してきました



5年生は、時間や周囲の友達のことにも気に掛け、きびきびと行動していました。自然教室の退所式では、「もう2～3日、自然の家に泊まりたい!」という子どもと、「早く家に帰っておうちの人に話をしたい」という子どもに別れ、微笑ましかったです。

保護者の皆様には、準備、送迎とたくさんのご負担をお掛けし恐縮でしたが、お陰様で充実した2日間の自然教室となりました。感謝申し上げます。